

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市台原デイサービスセンター
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 4,943人(前年度比 91.1%) 令和5年度 5,424人 令和4年度 5,455人 《事業》 市内に住所を有する身体が虚弱なため日常生活を営むことに支障がある方に対し、通所介護、第一号通所事業等のサービスを提供し、便宜を供与する。
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 - 指定管理者に支払った費用 ※利用料金制を採用しているため、指定管理料の支出はない。 - その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 - 使用料収入 43,513千円 (42,933千円) - その他収入 1,994千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 令和7年2月に利用者アンケートを実施した。また、送迎時の聞き取り等により、利用者及び利用者家族の要望等を把握し、事業運営を行った。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	デイサービスセンターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康相談や公平・公正な利用、要介護者の心身の特性に配慮した対応に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	30/30
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	25/25
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、建築物の保守点検や施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。 また、利用者の意見や苦情に対し、対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、苦情解決相談窓口、送迎時の聞き取り等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。さらに、広報誌の発行などを通じ、利用者等への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。	28/28
V 施設固有の基準	介護技術向上のための定期的な研修や、職員間での情報交換など、サービスの質の向上に向けた取り組みを行っている。 また、関係機関と連携して定期的に会議を開催し、日常的な連携体制を構築しており、関係機関からの情報収集と利用者への情報提供に努めている。	8/8

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
新型コロナウイルス等の感染対策を踏まえ、消毒・換気等の対策を継続しつつ利用者同士の交流の活性化を図るなど、安心してご利用いただける環境作りに努めた。 台原森林公園の近隣という環境を活かした屋外歩行訓練を季節の良い時期に2回実施し、リフレッシュと訓練を兼ねた内容で好評を得ている。 個人ボランティアによる演芸披露、フラダンスなど目新しいものを利用者様に楽しんでいただき、社会交流や楽しみの提供を行うことが出来た。 居宅介護支援事業所及び地域包括支援センター向けの内覧会を、参加しやすいよう2回に分けて実施し、参加者より新規紹介を頂くなど、ケアマネジャーとの信頼関係を強化した。 社会参加、交流の一環として、コロナ以降久しぶりに再開した「台原交流祭」に参加し、老人福祉センター愛好会によるマジックショーの観覧、生け花や川柳の展示物の観覧等を楽しんでいただいた。 台原中学校合唱部による合唱や楽器演奏会を世代間交流の一環として開催し、地域交流も兼ね好評であった。 手指機能訓練を兼ねた創作活動として「七夕飾り」「ひな祭り」の作成、毎月季節を感じる事が出来る切り絵等、楽しみながらリフレッシュしていただいた。 理学療法士による身体評価のもと、特に多くみられる筋力低下等による転倒リスクの有無と原因因子について精査し、個別機能訓練を実施した。また、福祉用具等での環境整備についても、担当ケアマネジャーと連携することでよりQOL向上に向けて支援を行うことが出来た。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
令和6年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。 感染症リスクへの対応として、利用者が安心して施設を利用できる環境づくりを継続的に行うとともに、併設の老人福祉センターと連携した「台原交流祭」への参加など、利用者同士および地域との交流の活性化に努めており、これらの取り組みは高く評価される。 また、施設の立地を活かし、台原森林公園での屋外歩行訓練を開催するほか、七夕飾りなど季節を感じる創作活動を通じて手指機能訓練を行うなど、利用者の満足度向上を目的とした多様なプログラムが企画・実施されている。 さらに、理学療法士による身体評価を実施し、特に筋力低下による転倒リスクの有無と原因因子について精査した上で、個別機能訓練を実施するなど、利用者一人ひとりに合わせた支援が行われている。 加えて、ケアマネジャー向けの内覧会を複数回開催するなど、利用者支援に関わる関係者との信頼関係の構築にも力を入れており、総合的に見て高く評価ができる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課